

能代市総合計画市民協働会議提案

能代市の新たなまちづくりの方向性を示す第2次能代市総合計画は、市民協働会議での検討を経て、市民と行政の協働により平成29年度に策定されました。

計画の進行管理についても、本会議が点検・評価・改善等を検討することとされており、今年度は、目標指標の推移を踏まえて政策を点検・評価するとともに、取組の改善策等の検討を行いました。

検討にあたっては、改善等が必要であると考えられる特定の分野を重点的に協議することが重要であると捉え、提案すべき政策を絞り込み、集中的に協議しました。

また、その過程において、現状や課題について、主に次のような指摘がありました。

- ① 市民が地域の魅力を認識し、能代のすばらしさを市外へPRできるようになる取組が必要である。
- ② 様々な地域資源が十分に活かされていない現状があり、これらを最大限に活用するためには、まちづくりの主体間での合意形成と連携が必要である。
- ③ 暮らしやすいまち、住みたくくなるようなまちにしていくためには、生活環境の整備に加え、市民の意識改革も必要である。

以上を踏まえ、第2次能代市総合計画に掲げた将来像「“わ”のまち能代」の実現に向けて、まちづくり評価書及びまちづくり提案書を別添のように取りまとめましたので、提出いたします。

令和元年11月6日

能代市長 齊藤 滋 宣 様

能代市総合計画市民協働会議
委員長 山内 繁

第2次能代市総合計画
(前期基本計画)

まちづくり提案書

令和元年11月

能代市総合計画市民協働会議

目 次

I 提案を行う政策とその理由	1
II 提案	
1 元気で魅力あるまち	
(1) 地域資源を活かした特色あるまちづくり	3
2 笑顔で人が輝くまち	
(1) 地域や社会で支える子ども・子育て	5
(5) 自立した暮らしを支える社会福祉・社会保障	8
3 豊かで活力あるまち	
(1) 地域特性を活かした産業創出	10
(3) 豊かな自然や伝統・文化を活かした観光	12
4 安心して暮らしやすいまち	
(5) 調和のとれた有効な土地利活用	14

I 提案を行う政策とその理由

■ 基本目標 1 元気で魅力あるまち

政策（1）地域資源を活かした特色あるまちづくり

【選択した理由】

本市が持つ様々な地域資源が十分に活かされていない現状にあり、これを最大限に活用することで、効果の高い取組が展開できると考えられる。

バスケの街づくりは、能代工業高校バスケットボール部だけに頼れない状況にある。

■ 基本目標 2 笑顔で人が輝くまち

政策（1）地域や社会で支える子ども・子育て

【選択した理由】

地域の将来を見据え、安心して子育てできる環境を整備するとともに、子どもの教育を充実させる必要がある。

政策（5）自立した暮らしを支える社会福祉・社会保障

【選択した理由】

障がい者が暮らしやすいまちが市民にとっても暮らしやすいまちであると考えられる。

■ 基本目標 3 豊かで活力あるまち
政策（1）地域特性を活かした産業創出

【選択した理由】

大規模洋上風力発電をはじめとする再生可能エネルギーの導入計画が進められていることに加え、日本海沿岸東北自動車道の全線開通によるアクセスの向上が見込まれることを踏まえ、能代港の利活用促進に向けて取組を強化すべきだと考える。

政策（3）豊かな自然や伝統・文化を活かした観光

【選択した理由】

人口減少が続く中、交流人口の増加を目指すには、観光振興が欠かせないものとなっている。
本市の持つ様々な自然・伝統文化を活かすとともに、バスケの街づくり等も資源と捉え、観光振興を図る必要があると考えられる。

■ 基本目標 4 安心して暮らしやすいまち
政策（5）調和のとれた有効な土地利活用

【選択した理由】

インフラが整備された中心市街地で、商工業だけに頼らない活性化に取り組んでいかなければならない。
集客の核となるような施設立地等、人を集める・人が住みたくなるような環境整備を図り、その結果として商業振興に繋がるものと考えられる。

II 提案

基本目標 1 元気で魅力あるまち

政策 (1) 地域資源を活かした特色あるまちづくり

提案項目 1 まちを知るコンテンツの充実	
提案に至った現状と評価	提案の内容
<p>市民が能代の地域資源を十分に認識しているとは言えない。その原因として、能代がどのようなまちなのか、意識する機会が少ないことが考えられる。</p> <p>(・・・ので、)</p>	<p>自分たちのまちが持つ地域資源を理解し、市外の方に能代の良さをPRすることができるよう、市民への情報発信を強化する。</p> <p>(具体案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 能代の街のコンシェルジュを育てるための能代市に特化した「〇〇検定」を市が認定し、市民団体や企業が実施する。検定合格者を評価したり、インセンティブを与えることで、より多くの市民に参加してもらおう。また、まちづくり団体等においても、自分たちのまちづくりに特化した検定コンテンツを制作することで、このまちを深く知ることに繋がる。 ○ 市民自らがまちづくりやボランティアを探して参加できるよう、行政やボランティアセンター等の関係団体、企業が、まちづくり活動をデータベース化し、共有化することでマッチングを図る。 ○ 行政が、恋文コンテスト最優秀作品や、バスケ、宇宙等の地域資源をテーマとした映画を誘致し、エキストラとして市民が広く参加できる機会をつくる。その後、ロケ地を観光スポットとして観光団体等が売り込む。 <p>(・・・が、・・・することを提案する。)</p>
提案に関連する 主な分野別計画	

提案項目 2 市民一体型のまちづくり	
提案に至った現状と評価	提案の内容
<p>バスケット、宇宙、恋文等の地域資源を活かしたまちづくりにおいて、当事者が頑張っている一方で、市民全体に機運が広まっているとは言えない状況にある。</p> <p>その原因として、まちづくりへの携わり方がわからない市民が多いことも考えられる。</p> <p>(・・・ので、)</p>	<p>地域資源を最大限に活用して、地域資源に馴染みのない人も巻き込んだ、市民一体型のまちづくりを展開する。市民が楽しくなければ、訪れる人も楽しくないと考えられるため、まずは市民に向けたPRを強化する。</p> <p>(具体案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 行政や関係団体等が行っているそれぞれのまちづくりイベント等において、市民活動の発表機会を設け、イベントに携わったボランティアを紹介するなどの仕組みづくりを推進する。小さな活動も広く認知・評価されるとともに、家族等の+αの来場者が期待でき、まちづくりに多くの人に触れるきっかけにもなる。 ○ 企業や団体がまちづくりに携わる市民等を推薦し、市が広報誌等で、その人たちを取り上げ、頑張っている人を応援する雰囲気をつくっていく。 ○ 行政が、能代をPRする個人や企業を称えるとともに、その個人や企業をPRする認定制度を創設する。 <p>(・・・が、・・・することを提案する。)</p>
提案に関連する 主な分野別計画	能代市バスケットの街づくり推進計画

基本目標 2 笑顔で人が輝くまち

政策 (1) 地域や社会で支える子ども・子育て

提案項目 1 婚姻数を増やすための徹底した取組	
提案に至った現状と評価	提案の内容
<p>少子化が深刻な状況にある中、まずは、出産へとつながる入口の取組として、成婚数を増やしていく必要がある。</p> <p>(・・・ので、)</p>	<p>結婚につながる出会いの場を創出するための取組をさらに強化する。</p> <p>(具体案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ まちづくり団体等が出会い創出イベントを充実させることができるように、市が出会い創出補助金制度を拡充し、団体等を支援する。 ○ 婚姻数が多かった時代は、お見合いが多くあり、近所におせっかい役もいた。今はそうしたことが自発的に発生しにくい時代であるため、行政主導で仕組みを構築、あるいはそうしたことを企画・実行する団体の活動を支援する。 ○ 市と高等教育機関等が連携し、未婚率の上昇や晩婚化の要因を、大学の研究テーマとして取り扱ってもらい、まずは、能代市の現状をしっかりと検証する。 <p>(・・・が、・・・することを提案する。)</p>
<p>提案に関連する 主な分野別計画</p>	<p>能代市まち・ひと・しごと創生総合戦略</p>

提案項目 2 市民全体で子育てを応援	
提案に至った現状と評価	提案の内容
<p>親世代から引き継がれるべき経験や考えがしっかりと引き継がれていないことが、近年の育児放棄や虐待に繋がっているものと思われる。</p> <p>また、男性の育児参加も必ずしも十分でなく、母親が忙しさに追われる余り、子育てに楽しさを見いだせなくなっているのではないかと考えられる。</p> <p style="text-align: right;">(・・・ので、)</p>	<p>子育てが楽しいと思えるまち、子どもの成長を安心して見守ることができるまちを目指して、子を持つ親だけでなく、周囲の住民の意識改革も図る。</p> <p>(具体案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 企業が育休取得や時短ワーク、在宅ワークを推進できるよう、市が積極的な企業を支援する制度を創設する。 ○ 家庭の教育力低下を招かないように、市が親を支援する家庭教育支援チームを育成する。あわせて、福祉団体による子ども食堂の創設や、学生による子の学習サポートを通じ、地域一体で子どもたちを支える。また、市外の大学生が参加しやすい補助制度を設ける。 ○ 子育て関係団体等が、男性向けの育児講座を充実させ、男性の育児参加を促進する。 <p style="text-align: right;">(・・・が、・・・することを提案する。)</p>
提案に関連する 主な分野別計画	能代市子ども・子育て支援事業計画 能代市子どもの未来応援計画

提案項目 3 子育ての不安解消に向けた取組	
提案に至った現状と評価	提案の内容
<p>子育てに正解はないと言われる一方で、不安を抱えている親は多い。家庭の事情等により、相談できる相手が近くにいない親の精神的負担をやわらげる必要がある。</p> <p>(・・・ので、)</p>	<p>子育てに対する親の精神的負担を少しでも軽くすることで、子育ての楽しさを実感でき、親も子ものびのびと過ごすことのできる社会の実現を目指す。</p> <p>(具体案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子育て支援サークル等が、自治会や町内会と協力して、多世代が集い、子育てに対する楽しさや悩み等を共有できる場をつくる。 ○ 「ただ悩みを聞いてほしい」、「ただ共感してほしい」という親のため、プライバシーに配慮しながら、市が、子を持つ親と傾聴ボランティアの繋ぎ役となる。 <p>(・・・が、・・・することを提案する。)</p>
<p>提案に関連する 主な分野別計画</p>	<p>能代市子ども・子育て支援事業計画 能代市子どもの未来応援計画</p>

基本目標 2 笑顔で人が輝くまち

政策 (5) 自立した暮らしを支える社会福祉・社会保障

提案項目 1 バリアフリー化率 100%のまちの実現	
提案に至った現状と評価	提案の内容
<p>公共施設をはじめ、まちの至る所でバリアフリー化が十分ではない。ハンディキャップのある人とそうでない人ということではなく、だれもが安心して暮らせるよう整備する必要がある。</p> <p>(・・・ので、)</p>	<p>市や民間企業等が徹底して建物等のバリアフリー化に取り組み、だれもが過ごしやすいまちをつくっていく。</p> <p>(具体案)</p> <p>○ 総合計画の指標でもある公共施設のバリアフリー化率は、目標値を100%として、徹底的に取り組んでいく。そうした姿勢を示すことで、民間企業への波及を図る。</p> <p>(・・・が、・・・することを提案する。)</p>
<p>提案に関連する 主な分野別計画</p>	<p>能代市障がい者計画 能代市障がい者福祉計画 (能代市障がい児福祉計画を含む) 能代市地域福祉計画 (策定中)</p>

提案項目 2 意識面のバリアフリー化	
提案に至った現状と評価	提案の内容
<p>ハンディキャップのある人はもちろんのこと、見た目ではそうだと気付かれない人に対しても、就労面やコミュニケーションの場面において、地域全体の理解が進んでいるとは必ずしもいえない状況である。</p> <p>また、そうした人たちを周囲で支える側の人たちも多くの悩みを抱えているため、単に制度だけではなく、当事者に寄り添った取組も強化していく必要がある。</p> <p style="text-align: right;">(・・・ので、)</p>	<p>ボランティアや関係団体等に頼らず、地域全体でハンディキャップのある人やその家族を支えていく仕組みを構築する。</p> <p>(具体案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校や社会福祉法人等が、ハンディキャップを体験する機会を積極的に設け、当事者への理解を促進する。 ○ 家族間の交流の場をつくる民間団体や、ハンディキャップのある人たちの雇用に積極的な企業等に対して、市が支援制度を創設して、活動を後押しする。 ○ 行政や社会福祉法人等が、悩みを抱えている人たちを待つだけではなく、積極的に探しに出る体制を整える。また、コーディネーターの養成や、関係機関との連携の強化を通じて、相談支援体制を構築する。 <p style="text-align: right;">(・・・が、・・・することを提案する。)</p>
提案に関連する 主な分野別計画	能代市障がい者計画 能代市障がい者福祉計画（能代市障がい児福祉計画を含む） 能代市地域福祉計画（策定中）

基本目標 3 豊かで活力あるまち
 政策 (1) 地域特性を活かした産業創出

提案項目 1 再生可能エネルギーの導入促進	
提案に至った現状と評価	提案の内容
<p>再生可能エネルギーの導入拡大に必要な不可欠である送電網の整備が十分ではない。</p> <p>また、バイオマスの利活用が進んでいない。</p> <p>(・・・ので、)</p>	<p>市と事業者等が連携して再生可能エネルギー導入の拡大に必要なインフラ整備の推進に向けた取組を一層強化する。</p> <p>また、エネルギーのまちとして安全で安価な電力供給の仕組みを構築する。</p> <p>(具体案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市と風力発電事業者が連携して、市民を対象とした再生可能エネルギーについての学習会を開催し、理解を深める。 ○ 自治会や農業法人等が小型バイオマス発電設備を導入する。また、市がバイオマスの小型コージェネ設備を整備するなどし、電力の自己消費を目指す企業や事業者を支援する。 ○ 市と経済団体等が発電事業者に地元地域に安価な電力を供給することを働きかけ、企業誘致による雇用創出を促す。 <p>(・・・が、・・・することを提案する。)</p>
<p>提案に関連する 主な分野別計画</p>	<p>能代市次世代エネルギービジョン 能代市バイオマスタウン構想</p>

提案項目 2 能代港の積極的な利活用	
提案に至った現状と評価	提案の内容
<p>現状の設備等の中では、貨物が制約されるなど、十分に利活用されているとは言えない。</p> <p>(・・・ので、)</p>	<p>大規模洋上風力発電事業計画の推進やアクセス条件の向上等、能代港を取り巻く状況を踏まえ、引き続き利活用促進に積極的に取り組む。</p> <p>(具体案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市と風力発電事業者等が連携して風力発電関連資材の運搬や建設・メンテナンス拠点としての能代港整備を促進する。 ○ 日本海沿岸東北自動車道の全線開通を見据え、市が新たな貨物を掘り起こすためにポートセールスを強化する。 ○ 市と経済団体が能代港のリサイクルポートとしての活用を促す。 <p>(・・・が、・・・することを提案する。)</p>
提案に関連する 主な分野別計画	能代市次世代エネルギービジョン

基本目標 3 豊かで活力あるまち

政策 (3) 豊かな自然や伝統・文化を活かした観光

提案項目 1 様々な地域資源を活かした観光振興と情報発信の強化	
提案に至った現状と評価	提案の内容
<p>バスケットの街づくりや宇宙のまちづくり等、観光振興の素材となりえるコンテンツが活かされていない。</p> <p>また、観光PRの入り口であるイベントは充実しているが、通年観光の取組と観光に関する情報発信が十分ではない。</p>	<p>自然や各種施設に加え、まちづくり等も観光資源と位置づけ、見学・周遊に加え、体験・参画の視点を盛り込み観光振興を図る。</p> <p>また、観光客が様々なコンテンツ等に通年で触れることができる環境を整備するとともに、多様な媒体等による積極的な情報発信に努める。</p> <p>(具体案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市、市民、事業者がバスケットの街づくりを観光利用するために役割分担を決め、目標を共有できる行動計画をつくり取組を進める。 ○ 市、観光事業者、市民が連携して様々な観光資源を再検討し、つなぎ合わせた周遊ルートを提案する。合わせて、観光ガイドを養成し、案内に努める。 ○ 市と能代工業高校、秋田ノーザンハピネット等が連携して、バスケットミュージアムに能代工業高校バスケットボール部の軌跡、故加藤廣志氏の功績等を展示するほか、ハピネットグッズの専門店を整備する。その際、演出や展示方法等を工夫して集客力の向上を図る。 ○ 市と各種団体等が連携し、子ども館に宇宙とエネルギーをテーマとした国内唯一となる展示機能を付加するなど、既存施設の機能強化を図り、観光資源として活用する。また、既存施設の冬期間におけるコンテンツを充実させる。

- 市民が地元のすばらしさや見どころ、食の良さについて認識し、紹介できるよう、市の観光パンフレットを全戸配布して啓発する。
- 市と関係団体、事業者が連携し、田舎に興味を持ってくれそうなターゲットを分析する。その上で、能代の魅力を発信できる動画を作成し、YouTube 広告などでターゲット層に直接宣伝する。
- 市と事業者が連携して米代川及び能代港周遊の小型遊覧船の利活用に取り組む。

(・・・ので、)

(・・・が、・・・することを提案する。)

提案に関連する
主な分野別計画

能代市観光振興基本指針

基本目標 4 安心して暮らしやすいまち

政策 (5) 調和のとれた有効な土地利用

提案項目 1 中心市街地への集客機能等の集約と空き家等の利活用促進	
提案に至った現状と評価	提案の内容
<p>中心市街地の空洞化、建物の老朽化が進んでいる中で、居住人口、交流人口を増加させるための取組が必要である。</p> <p>また、相続登記されていない等所有者の特定が難しい物件が多いことに加え、建物が密集しているため、再利用や解体には権利の問題や高額な費用が伴う。</p> <p style="text-align: right;">(・・・ので、)</p>	<p>市と民間の関係団体等が連携し、核となる集客施設を中心市街地に設置または誘致する。</p> <p>また、市が空き家や空き店舗について、所有者の特定と意向等について調査する体制を整備し、委員会を立ち上げ基本方針を定める。</p> <p>(具体案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市と民間の関係団体等が連携して中心市街地にバスケミュージアムと天空の不夜城展示コーナーを含む観光拠点を整備する。その際、民間資本を導入し、利益とコストを意識した施設とすることが重要である。 ○ 中心市街地の活性化は商業面に偏るのではなく、まずは人が住むことを定着させるために、医療・福祉、教育等の多くの市民が利用する施設等を集約する。 ○ 行政と土地建物の所有者、事業者等が協働して、空き家等の解体を促す仕組みや、安く解体できる仕組みをつくる。 ○ 例えば建物解体後の土地を再利用する場合において、一定面積の駐車場を整備することで、中心市街地の利便性を向上させ、来街者の増加を図る。 <p style="text-align: right;">(・・・が、・・・することを提案する。)</p>
提案に関連する 主な分野別計画	第2期能代市中心市街地活性化ビジョン・中心市街地活性化計画

